

コートジボワール情勢(2018年4月)

主な出来事

【内政】

- 4月5日、アウス大統領付政治対話・国家機関関係担当国務大臣が、ほぼ全会一致で上院議長に選出された。
- 4月11日、ヤムスクロで開催されたウワタラ大統領主催の閣議は、2013年4月21日に選出された州議会議員及び市議会議員の任期を延長する大統領令(デクレ)を承認した。
- 4月12日、上院議会の開会式がヤムスクロのフェリックス・ウフェ＝ボワニ財団で開催され、ウワタラ大統領、ダンカン副大統領、ゴン＝クリバリ首相等の政府要人、ベディエ元大統領、ソロ国民議会議長を含む国民議会議員、地方議会議員、政党関係者、宗教関係者、伝統的首長等が出席した。
- 4月16日、与党ウフェ連合の全党首が統一政党創設のための政治合意に署名した旨のコミュニケが発表された。

【外政】

- 4月3日、ウワタラ大統領は、アビジャンを訪問したニヤシンベ・トーゴ大統領と2時間以上に亘り会談した。
- 4月4日、ウワタラ大統領は、アビジャンを48時間公式訪問したウェア・リベリア大統領と会談した。
- 4月14日、ウワタラ大統領は、トーゴのロメで開催されたECOWAS臨時首脳会合に出席した。
- 4月15日、ウワタラ大統領は、クウェート首長の招待により、クウェートを4日間公式訪問した。
- 4月20日、ウワタラ大統領は、パリを訪問し、マクロン仏大統領とアビジャン・メトロ、エアバス、テロ対策センターについて協議した。
- 4月26日、ウワタラ大統領は、訪問中のルワンダのキガリで、カガメ大統領と会談した。

【経済】

- 4月5日、IMFミッションは、コートジボワールの2017年の経済成長率は7.8%で、インフレ率は0.7%であったと発表し、政府による良好なパフォーマンスを評価した。
- 4月5日、カバ計画・開発大臣はイスラム開発銀行(IsDB)との間に対コートジボワール融資協定(1億188万ユーロ)に署名した。ポンドゥク大学(東部)の教員研修、建設、機材整備等に資金を提供するもの。
- 4月6日、ゴン＝クリバリ首相は、フェリックス・ウフェ＝ボワニ橋改修工事の起工式を執り行った。417億CFAフラン(約83億円)と推計される総工費は仏債務免除・開発契約(C2D)で調達され、工期は30か月の予定となっている。

- 4月18日、ウワタラ租税総局長は、2018年第1四半期の税収が4,667億CFAフラン(約933億円)であり、目標額より19億CFAフラン(約4億円)超える結果となったことを発表した。
- 4月21日、コネ経済・財務大臣は世銀との間で、カシューナッツ・バリューチェーン支援(2億3,611万ドル)、土地制度改善(5,000万ドル)、レジリエンス強化支援(2,410万ドル)計3件の融資協定に署名した。
- 4月22-26日、横浜市代表团25名がマンベ・アビジャン自治区知事に迎えられた。両自治体は2017年9月に横浜市で交流協力協同声明に署名しており、今後、自治体間協力を検討している。

1 内政

- 4月3日、ソロ国民議会議長は、国民議会の通常会期の開会式を行い、本年は謝罪と和解を国民議会の活動の中心に据えるべきであると述べた。また、同議長は、大統領派による統一政党創設に関するエスカレートする口論は、国民が望むものではないと述べ、対話と時間に猶予を与えるべきであると述べた(フラテルニテ・マタン紙、ヌーボー・レベイユ紙、ル・パトリオット紙、ランテール紙、ノートル・ヴォア紙)。
- 4月5日、アウス大統領付政治対話・国家機関関係担当國務大臣は、ほぼ全会一致で上院議長に選出された(フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙、ヌーボー・レベイユ紙、ル・パトリオット紙、ノートル・ヴォア紙)。
- 4月5日、ディアバテRDR党首主催のRDR政治部会は、5月5日に党大会を開催し、統一政党のハイレベル委員会が決定した統一政党に関する文書案を採択にかける旨コミュニケで発表した(ル・パトリオット紙、ヌーボー・レベイユ紙、フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙)。
- 4月9日、最高裁判所は、野党FPIが大統領令(オールドナンス)により上院選挙を実施したことに対抗する申請書を棄却した(ノートル・ヴォア紙)。
- 4月10日、ウワタラ大統領は、ベディエPDCI党首とアビジャンで会談した。最終コミュニケによると、ウワタラ大統領とベディエ党首が2017年10月31日に設置されたハイレベル委員会の結論に従い、「ウフェ派連合(RHDP)」と名付けた統一政党創設に関する政治合意の基本方針を採択した(フラテルニテ・マタン紙、ヌーボー・レベイユ紙、ル・パトリオット紙、ランテール紙)。
- 4月11日、ヤムスクロで開催されたウワタラ大統領主催の閣議は、2013年4月21日に選出された州議会議員及び市議会議員の任期を延長する大統領令(デクレ)等を承認した。なお、右承認に伴い、州議会議員及び市議会議員の任期は本年12月31日迄に実施される地方選挙で新議員が就任するまで延長される(フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙、ヌーボー・レベイユ紙、ル・パトリオット紙)。
- 4月12日、上院議会の開会式がヤムスクロのフェリックス・ウフェ＝ボワニ財団で開催され、ウワタラ大統領、ダンカン副大統領、ゴン＝クリバリ首相等の政府要人、ベディエ元大統領、ソロ国民議会議長を含む国民議会議員、地方議会議員、政党関係者、宗教関係者、伝統的首長等が出席した。また、外交団及び国際機関関係者等も同式典に参加した(フラテルニテ・マタン紙、ヌーボ

ー・レベユ紙, ランテール紙)。

●4月16日, ベディエPDCI党首兼与党ウフェ連合(RHDP)代表は, RHDPの全党首が, コートジボワールの平和と安定の維持のため, ウフェ=ボワニ初代大統領の開発及び政治活動を継続するとの強い意志を確認する政治合意に署名した旨コミュニケで発表した(フラテルニテ・マタン紙, ヌーボー・レベユ紙, ル・パトリオット紙, ランテール紙)。

●4月19日, ベディエPDCI党首は, ダウクロで統一政党創設に関する政治合意は, PDCIの解党を意味するものではないことを明確にした(フラテルニテ・マタン紙, ヌーボー・レベユ紙, ランテール紙, ノートル・ヴォア紙, ル・パトリオット紙)。

●4月20日, ベディエPDCI党首は, RFI(仏国際放送)のインタビューで, 連立を組んでいる政党と2020年大統領選挙への候補者擁立に関し協議中であり, PDCIが2010年及び2015年に支持したRDRから支持を得ることを期待していると述べた。また, 同大統領は, もしその協議が上手くいかない場合は, 各党が候補者を擁立することになるであろうと述べた(ヌーボー・レベユ紙)。

●4月21日, ティア・コネ元最高法院長(UDPCI党员)は, 共和国防衛連合(UDR)と命名した新党結成を発表するとともに, 自身が同党の党首となることを発表した(ランテール紙, ヌーボー・レベユ紙)。

●4月28日, 与党ウフェ連合に参加するUPCIは, アビジャンで開催された臨時党大会で, プライマ・ソロUPCI党首が署名した統一政党創設のための政治合意を無効とすることを決定した。ソロ党首は, 右結果を受け, 政治合意への署名は取り消されると述べた(フラテルニテ・マタン紙, ランテール紙, ノートル・ヴォア紙, ヌーボー・レベユ紙, ル・パトリオット紙)。

●4月28日, ニヤミアン・コナン元関税総局長兼UPCI創設者は, アビジャンで「新コートジボワール」と命名した新党結成を発表した(フラテルニテ・マタン紙)。

●4月29日, 与党ウフェ連合に参加するPITは, アビジャンで開催された臨時党大会で, 全会一致で統一政党創設のための政治合意を承認した(フラテルニテ・マタン紙, ランテール紙, ル・パトリオット紙)。

2 外政

●4月3日, ウワタラ大統領は, アビジャンを訪問したニヤシンベ・トーゴ大統領と2時間以上に亘り会談した(フラテルニテ・マタン紙, ル・パトリオット紙, ランテール紙)。

●4月4日, ウワタラ大統領は, アビジャンを48時間の公式訪問したウェア・リベリア大統領と会談した。ウェア大統領は, 両国の協力強化のための訪問であると述べたのに対し, ウワタラ大統領は, 両国間の平和・友好関係構築の必要性, 開発における経験, 政治・外交における意見のすり合わせ等, 両国の共通の関心事項に関し意見交換した旨述べた(フラテルニテ・マタン紙, ランテール紙, ノートル・ヴォア紙, ヌーボー・レベユ紙, ル・パトリオット紙)。

●4月4日-9日, ベディエPDCI党首はガーナのアシャンティ王の招待を受け, ガーナを数日訪問した(ヌーボー・レベユ紙)。

- 4月6日、ウワタラ大統領はアビジャン訪問中のマイガ・マリ首相と会談した。同首相は、ウワタラ大統領にケイタ・マリ大統領からの挨拶を伝達するとともに、ゴン＝クリバリ首相との協議内容（国連安保理におけるサヘル地域の治安に関するコートジボワールからの支援要請、コートジボワール、ブルキナファソ及びマリ間の経済特区の設置、エネルギー）を報告した（フラテルニテ・マタン紙、ヌーボー・レベユ紙、ル・パトリオット紙）。
- 4月7日－8日、アフィン・ゲッソンFPI党首はパリ近郊で開催された仏社会党の第78回党大会に出席した（ノートル・ヴォア紙）。
- 4月9日、ウワタラ大統領は、アビジャンで Adama Ouané フランコフォニー国際機関(OIF) 行政官の表敬を受けた。同行政官は、10月にアルメニアで開催される次期首脳会合にウワタラ大統領を招待した（フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙）。
- 4月14日、ウワタラ大統領は、トーゴのロメで開催されたトーゴ及びギニアビサウ情勢に関し協議するECOWAS臨時首脳会合に出席した（フラテルニテ・マタン紙、ヌーボー・レベユ紙）。
- 4月15日、ウワタラ大統領は、クウェート首長の招待により、クウェートを4日間公式訪問した。ウワタラ大統領は、両国の協力に関し意見交換するとともに、クウェート当局及び民間セクターにコートジボワールに投資するよう促すつもりであると述べた（フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙、ヌーボー・レベユ紙）。
- 4月20日、ウワタラ大統領は、パリを訪問し、マクロン仏大統領とアビジャン・メトロ、エアバス、テロ対策センターについて協議した（フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙）。
- 4月26日、ウワタラ大統領は、訪問中のルワンダのキガリで、カガメルワンダ大統領と会談した。会談内容については、何も発表されていない（フラテルニテ・マタン紙、ヌーボー・レベユ紙、ル・パトリオット紙）。
- 4月26日、アモン・タノー外相は、国連で、コートジボワール兵士450名を国連中央アフリカ多面的統合安定化ミッション(MINUSCA)に派兵する旨発表した（ランテール紙、ヌーボー・レベユ紙）。

3 経済

- 4月5日、前月22日から当地を訪問していたIMFミッションは、2016年12月に承認された2つの融資協定（拡大信用ファシリティ及び拡大援助供与措置）の下に実施される3年間のプログラムの第3次レビューを行った。2017年の経済成長率は7.8%、インフレ率は0.7%となっており、ミッションは政府による良好なパフォーマンスを評価した（フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙、ヌーボー・レベユ紙、ル・パトリオット紙）。
- 4月5日、ウェア・リビエラ大統領はダンカン副大統領等と共にCIPREL発電所を視察した。タノー石油・エネルギー・再生可能エネルギー開発大臣は、コートジボワールからリベリアへの電力供給を2019年以降強化する意向を示した。コートジボワールはリベリアに対し、2017年には19ギガワット・アワーの電力を供給している。なお現在、コートジボワールからリベリア、シエラレオネ、ギニアに84メガワットの電力を供給するための送電線1,411kmの建設案件が実施中である

(フラテルニテ・マタン紙, ランテール紙, ル・パトリオット紙, ノートル・ヴォア紙)。

●4月5日, カバ計画・開発大臣はチュニス(チュニジア)にて, イスラム開発銀行(IsDB)との間で対コートジボワール融資協定(1億188万ユーロ)に署名した。ボンドウク大学(東部)の教員研修, 建設, 機材整備等に資金を提供するもの(ランテール紙, ル・パトリオット紙)。

●4月5日, オーストラリアの鉱業企業 Perseus Mining 社の Quatermaine CEO はダンカン首相を表敬し, 2億5, 000万ドルを投じて Tingrela 県 Sissingué(北部)の金鉱山での商用生産, 及び Bouaflé(中部)の Angovia 金鉱山の開発を開始することを発表した(フラテルニテ・マタン紙)。

●4月6日, ゴン＝クリバリ首相は Huberson 仏大使臨席の下, フェリックス・ウフェ・ボワニ橋改修工事の起工式を執り行った。アビジャンのプラトー市とトレッシュビル市を結ぶ同橋は1957年に開通している。417億CFAフラン(約83億円)と推計される総工費は仏債務免除・開発契約(C2D)で調達され, 工期は30か月の予定となっている(フラテルニテ・マタン紙, ヌーボー・レベイユ紙, ル・パトリオット紙)。

●4月16日, ダンカン副大統領は Moronou 州 Bénéré 村(中東部)で, Lagune Exploitation Bongouanou 社(Moumini Bictogo 社長)が投資するボーキサイト鉱山の採掘開始式を執り行った。式典にはベディエPDCI党首も参加した(フラテルニテ・マタン紙, ヌーボー・レベイユ紙)。

●4月17日, ウワタラ大統領のクウェート訪問に際し, コートジボワール・クウェート両国政府間の経済協力同意文書が署名された(フラテルニテ・マタン紙)。

●4月18日, ウワタラ租税総局長は, 2018年第1四半期の税収が4, 667億CFAフラン(約933億円)であり, 目標額より19億CFAフラン(約4億円)超える結果となったことを発表した(フラテルニテ・マタン紙, ランテール紙, ヌーボー・レベイユ紙)。

●4月21日, ワシントンDCで開催されたIMF・世銀春季会合の機会に, コートジボワールと世銀は3件の融資協定に署名した。内訳はカシューナッツのバリューチェーン競争力強化(2億3, 611万ドル), 土地所有制度改善(5, 000万ドル), 西アフリカ沿岸部のレジリエンスへの投資(2, 410万ドル)。署名は, ゴン＝クリバリ首相立ち会いの下, コネ経済・財務大臣とディオップ世銀西アフリカ担当副総裁により執り行われた(フラテルニテ・マタン紙, ヌーボー・レベイユ紙, ル・パトリオット紙)。

●4月23日, クリバリ農業・農村開発大臣と Aziz Akannouch モロッコ農業・漁業・農村開発・水・森林大臣は, モロッコで, アビジャンの果物・野菜流通プラットフォームに関する協定の修正案に署名した。これにより, 2018年1月以降期限切れとなっていた36か月の原協定を3年間延長することになった(ランテール紙)。

●4月23日, 中国国家発展改革委員会(NDRC)ハイレベル幹部を含む約20名の中国代表团(Wang Jianjun 団長)がコートジボワールを訪問し, コートジボワール政府当局との間で, 中国が資金調達を約束する案件リスト(メトロ, 発電所, 立体交差点, 道路建設等)を作成した。また24日には, 一行はダンカン副大統領を表敬した(フラテルニテ・マタン紙)。

●4月24日, 渡辺横浜副市長及び佐藤日本アフリカ友好横浜市議会議員連盟会長を含む総勢25名の横浜市代表团が, マンベ・アビジャン自治区知事に迎えられた。両自治体は林横浜市長と

マンベ知事との間で2017年9月に横浜市にて交流協力協同声明に署名しており、今後、飲料水供給、都市廃棄物処理、都市交通利便性強化等の分野で自治体間協力を検討している（フラテルニテ・マタン紙、ソワール・アンフォ紙、ヌーボー・レベイユ紙、ル・パトリオット紙、ランテール紙、ノートル・ヴォア紙）。

●4月26日、KPMG会計事務所から3月12日に政府に提出された監査報告書によると、カカオ生産者に関する2016－2017農期の国家収入において5,000億CFAフラン（約1,000億円）の不足があったことが報じられた。輸出業者に対する許認可の甘さ、過剰生産の予測体制の不備、コーヒー・カカオ委員会の内部監査役員の能力欠如等が原因とされている（ノートル・ヴォア紙）。

（了）